

通 告 順	議席番号	通 告 者
6	9	佐 藤 邦 彦

## 1 復興計画、鳥の海湾二重防御事業について

震災復興計画の津波二重防御である、荒浜・吉田地区の緩衝緑地整備事業及び、荒浜地区側の防災施設整備事業が未完了である。当初計画から 10 年の経緯をふまえ次の質問をする。

- (1) 事業が完了しない主な要因について伺う。
- (2) 事業規模及び有用性と財政負担や住環境保全から計画の効果、実効性  
の見解を伺う。
- (3) 事業の見直しを行い新たな政策展開を図るべきと考えるが見解を伺う。

## 2 亙理神社の公園整備と利活用について

亙理神社は、明治 12 年伊達成実公の遺徳を後世に伝えようと創建された。神社敷地には旧館公園（都市公園）が設置され史跡と憩いの場として親しまれてきたが、近年公園内施設や案内板の老朽化が著しくサギの営巣場所になり、公園環境が悪化し利用者が減少している。このことについて次の質問をする。

- (1) 旧館公園の現状をどのように認識しているのか伺う。
- (2) 亙理神社の史跡活用と観光振興について伺う。
- (3) 都市公園である旧館公園を再整備し利用者の更なる福祉増進を図るべきではないか伺う。

通 告 順	議席番号	通 告 者
7	8	小 野 明 子

## 1 不妊症・不育症への取り組みについて

- (1) 本町では「亙理町特定不妊治療費助成事業」において不妊治療費の助

成を行っている。令和2年度における助成の実績とその他要望等があったのか伺う。

(2) 今年度、国は不妊症、不育症への支援を拡充している。「第5次亶理町総合発展計画」や亶理町のWebサイトでは“不妊症”への支援が明記されているが不育症への支援は明記されていない。すでに不育症の治療費助成を始めている自治体もあるが、本町で不育症支援が検討されているのか伺う。

(3) 不妊症、不育症治療は年齢制限があり、治療と仕事の両立も大きな課題であるため、周囲の正しい理解と配慮が不可欠だとされる。不妊症、不育症治療の理解を得るための取り組みは。

## 2 災害時のペット同行避難について

(1) 近年、頻発する様々な災害を踏まえ、環境省では平成25年に「災害時におけるペットの救護対策ガイドライン」が作成され、ペットと飼い主の同行避難が推進されている。本町でのペット同行避難への対応は。

(2) 環境省をはじめ、各自治体では飼い主に対して、避難所でのマナーやペットのため備蓄、日頃のしつけ等についての普及啓発活動が行われている。仙台市では避難訓練の際に配布するチラシの中で、飼い主の準備について記載し、利府町では「ペット防災手帳」を作成やペット同行の避難訓練の実施を通して、災害時のペットの適切な飼育管理の周知徹底に努めている。本町でも、ペットの同行避難も含め、災害時の飼い主の対応について、積極的な普及活動をすべきだと考えるが、町としてはどのように取り組んでいるのか。

通告順	議席番号	通告者
8	15	鈴木高行

## 1 亶理町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画について

(1) 平成30年の法律改正により、老人福祉制度が大きく変わった。行政の

役割がより重要視された。介護保険要支援者へのサービスの提供、住み慣れた地域で安心して暮らせる地域社会の構築など、地域に根付いていない現状である。今回の第8期の計画では、どのようにして地域に根づかせていくのか。

(2) 高齢者は、施設入所した方が安心して生活が送られるとの声を多く聞かれる。確かに現状は、そのように思われる。今後ますます増える高齢者介護のため、本町における老人介護施設の新設計画はあるのか。

(3) 家族介護の多くの家庭では介護が困難な状況にある。将来にわたり介護スタッフの養成や資格取得費の助成、そして今後ますます増加する要介護者対策はどのように考えているのか。

通告順	議席番号	通告者
9	3	高野進

### 1 新型コロナウイルス対策支援等について

今年6月の定例会（一般質問）で「新型コロナウイルスに伴う町行事等の中止に伴う減額分を、コロナ対策に追われている医療従事者の支援に充ててはどうか」との質問に対し、「地域医療の現状を把握し、医療機関や医療従事者に対し、地域創生臨時交付金の活用を含め、支援を検討してまいりたい」との答弁があった。

そこで、次の点を伺う。

- (1) 地方創生臨時交付金の総額と、その用途。
- (2) 「支援を検討してまいりたい」との検討結果。

### 2 障害福祉サービス費の不正受給の再発防止について

株式会社ライカムが運営した、障害者就労移行支援事業所（当町では「スプリント亘理センター」）が補助金を不正受給した件で、当町の回収不能額は14,859,481円になり、町の財源（税金）で対応することになるが、今後の再発防止策は。

### 3 東北電力女川原発事故時の避難対応について

(昨年 12 月、一般質問の答弁を踏まえて)

東北電力女川原発 2 号機が来年度から再稼働することが決定した。本町は、原発事故時の広域避難計画で、東松島市民 (2902 人) の避難先になっている。

地理的に本町は女川原発から直線距離で約 70 km で、福島原発 (約 90 km) より近く、事故時には本町民の安全等が懸念される。

そこで、次の点を伺う。

- (1) 東松島市民の施設毎の収容可能人数。
- (2) 本町の収容可能人数 13,600 人の施設名と施設毎の人数。
- (3) 東松島市からの避難者と、本町民の避難先の優先順位。
- (4) 現備蓄物品 (飲食料品等) で、本町民への対応は可能か。
- (5) 原発事故を想定した避難所運営マニュアルの有無と、避難訓練を行う考えはあるか。
- (6) 「事故時の対応は、前以て関係市町村・県と打合せをしておく必要があると思うが」との質問に対して、「踏み込んだ形で考えていきたい」との答弁があった。どう考えてきたのか。

通告順	議席番号	通告者
10	16	熊田芳子

## 1 水産業の振興について

町長の施政方針の中で「イベントの実施を通して地元で水揚げされる水産物の PR に努めていく。」とあるが、新型コロナウイルスの拡大防止の為に、水産まつり等のイベント等の中止を余儀なくされている中で、具体的にどのような手法で PR を行っていくのか伺う。

## 2 新型コロナウイルス感染症について

宮城県内の新型コロナウイルス感染症の感染者は、8 月 19 日現在 12,382 人となり本町の感染者も増加傾向にある。完治後の後遺症に悩む方々の相談体制を整える必要があると思うが町の考えは。

---